

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和7年4月21日

総合交通対策調査特別委員会

速 報 版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午前9時57分開会

○杉本ゆう委員長 それでは、全員おそろいのですので、総合交通対策調査特別委員会を開会いたします。

————— ◇ —————

○杉本ゆう委員長 まず初めに、記録署名員の指名を行います。吉田委員、土屋委員、よろしくお願いいたします。

————— ◇ —————

○杉本ゆう委員長 次に、陳情の審査に移ります。

最初（１）５受理番号３８ 小さな交通「グリーンスローモビリティ」の早期実現を求める陳情、（２）６受理番号５ 地域住民の足を守るための陳情、（３）６受理番号６ 足立区の公共交通の充実を求める陳情、以上３件を一括議題といたします。３件とも前は継続審査であります。

最初に、６受理番号５、６受理番号６の陳情について、それぞれ追加署名の提出がありましたので区議会事務局次長から報告をお願いします。

○区議会事務局次長 ６受理番号５の陳情につきましては、４月１６日付で１４名の追加署名の提出があり、合計で１，０８２名になりましたので御報告いたします。

また、６受理番号６の陳情につきましては、４月１６日付で６１名の追加署名の提出があり、合計で７，８４０名になりましたので御報告いたします。

○杉本ゆう委員長 ありがとうございます。

また、報告事項③はるかぜ協働事業の令和７年度協定書及び主な取組について、④常東地区における地域内交通の検討状況について、⑤花畑地区における地域内交通の検討状況についてが本陳情と関連しておりますので、併せて報告を受けま

す。

それでは、執行機関お願いいたします。

○交通対策担当部長 おはようございます。

それでは、報告資料の５ページをお願いいたします。

はるかぜ協働事業の令和７年度協定書及び主な取組についてでございます。

１番で、対象路線については別紙のとおりでございます。

それから２番で、協定書の主な変更点として挙げさせていただいております。

（１）で区の負担額について、下の方に、アとイということで、新日本観光自動車、それから日立自動車のそれぞれの令和６年度、令和７年度の変化点について御説明させていただいております。特に、新日本観光自動車の方では車両の買い替え数の増ということで、ディーゼル車、今年４台増やしているような状況がございます。また、日立自動車も、昨年はなかったんですけども、本年度ディーゼル３台の購入を予定していると。そうしたところが費経費の方に反映されております。

進んでいただきまして、６ページでございます。

（２）番で、経常費の概算払いの頻度ということで、こちらにつきましては、新日本観光自動車について毎月払いをやっていくというような内容でございます。日立自動車の方はこれまでどおりで、半期ごとの払いということで変わっておりません。新日本観光自動車につきましては、昨年、月々の報告が若干遅れるような状況があつて、先方ともいろいろと相談をし、あるいは弁護士の先生とも相談した上で、毎月払いというふうにしております。

次、３番でございます。運行ダイヤの最適化に向けた取組でございます。こちら前回の委員会の方でも報告をさせていただいたところでございます。利便性の向上、バスの運転士の労務環境の改善に向けてということで、東京都のスマートサー

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ビス実装促進プログラムに手を挙げまして、一緒にこちらの方を実施してまいります。

(1) として、現状、それから2として最適化の方法、それから採択事業者、株式会社SPAというところになっております。

(4) のところで、今後のスケジュールで、新日本観光自動車の方につきましては10月を目途にダイヤ改正、それから、日立自動車につきましては12月を目途にダイヤ改正に取り組んでまいります。

以降のページに協定書等ございます。こちらの方は御確認ください。

進んでいただきまして、47ページをお願いいたします。

常東地区における地域内交通の検討状況についてでございます。

1番で、「チョイソコ×せんじゅ」の運行計画、別紙の方に掲載させていただいております。下の方の表の中で、これまで議論を進めてまいりました内容につきまして、運輸局の方へ事業認可の申請を行っております。8月5日から実験を開始する。それからスタートの段階では、週の2日運行ということで、3か月目からは3日になる予定でございます。

下の方です。2番、実証実験開始に向けた関係者との協定締結ということで、3月に関係者で協定を締結しております。常東地区の協議会、それからシステム会社であります株式会社アイシン、それから運行するタクシー事業者3者、それと足立区ということで協定を交わしております。

次のページ、48ページに、(2)で協定の概要につきまして大きなところを記載させていただきました。ア、イ、ウ、エと、それぞれの役割について記載をさせていただいているところでございます。特に足立区につきましては、今回の実証実験につきましても運輸局への認可の申請等ございますので、そうしたものの準備ですとか、資料を

作った上でタクシー事業者から手続をしてもらうというような流れで進んでまいっております。

3番でございます。今後でございますけれども、事業説明会及び利用者登録会を開催してまいります。6月の下旬、下旬ということで、記載のとおりで2回程度、3回程度ということで、地元の住区センター等で開催をしてまいります。

最後4番のところで、今後のスケジュールでございますけれども、8月に実証実験開始で、秋頃ということで、利用者アンケートの実施、それから協賛金を募る運行スキームへの変更予定ということで、こちらにつきましては前回もちょっとお話をさせていただいたかと思うんですが、協賛金を募る運行スキームというのはもともとこのチョイソコの特徴でもございました。ですので、そこについても検討しておったんですが、その部分でなかなか進まない部分もございましたので、まずは8月の運行スタートということで進めさせていただいた上で、引き続き検討を進めながら秋ぐらいには、そうしたところの動きについても取り組んでいきたいということで地元と話をしているところでございます。

以降、運行計画等が掲載されております。

一番最後、96ページをお願いいたします。

こちらの花畑地区における地域内交通の検討状況でございます。

花畑地区につきましては、地元の皆さん方といろいろと御議論をしておるところではあるんですが、なかなか最終的にまだ運行計画を立てるところまでちょっと行き着いてない状況でございます。したがって、運行の開始時期については、8月はちょっと難しくということで、今回、秋ぐらいということで進めさせていただく予定でございます。

2番のところで、説明会の開催ということであるんですが、こちらの1回目を実施して、2回目ということで3月1日実施させていただき

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ました。1回目が2月6日木曜日でございました。同じように、1回目も50人ぐらい、今回は48人ということで、地域の方にたくさんお集まりいただいたところでございます。

3番のところで実証実験開始時期の変更、すみません、先ほどちょっと私申し上げましたけれども、についてなんですけれども、いろいろな御議論をさせていただいている状況でございまして、(1)で、夏の時期に、委員からも御指摘があったかと思うんですけれども、熱中症のおそれがある時期にスタートして、乗り切れなかった場合どうなんだというような御議論もありました。そういったところについても今検討しているところでございます。それから、運行経路やダイヤについても再度検討を進めている状況でございます。

私から報告、以上でございます。

○杉本ゆう委員長 ありがとうございます。

それでは質疑に入ります。

何か質疑ありませんか。

○白石正輝委員 副区長にお伺いしますが、議会の決議というのは、一体どの程度重要視しているんですか。

○副区長 もちろん決議されたものについては実行できるように努力させていただいておるところでございます。

○白石正輝委員 そうやって聞かれば、していますと言うに決まっているんですが。この花畑地域については、皆さん方がここが一番大切だから、まず試験的やらせてくださいという提案が出たわけですね、ブンブン号の。それがうまくいかなかったからやめますと決めたのは去年の3月ですね。その時点でも、これに替わるものを何とか考えられないのかということをお願いしていたんですが、その後、全然何にも執行機関側から提案がないという中で、議会は全会派の賛成をいただいて決議を出したわけですよ。

決議を重く受け止めると言うのなら、この決

議はいつ出ましたか。

○交通対策担当部長 令和6年10月21日付でいただいております。

○白石正輝委員 これは令和6年の第3回定例会で出ているんですね。あれからもう半年たっているんですよ。それなのに、説明会、説明会って、説明会だけやっていたって、だらだらだらだらやっているだけなんです。区としてはどうしたいということに対してははっきりとした方向性が出てない。だからこの説明会やっているんですよ。

今年は都議会の選挙もあり、参議院の選挙もあるんですよ。ある政党などは、決まったことを、私たち当選させてくれればやりますよということを平気で地域で言っている政党もいるんですよ。竹の塚のホームドアのことについてもそうですけれども、ホームドア付けますよということを東武で、きちっとこの委員会に報告があった。委員会全員が了承しているんですね、付けることを。ところが、それが終わった後ですよ。私たちが当選すりゃホームドア必ず付けますと、駅頭でやっているんですよ。東武がやりまうと言ったことを委員会で報告があって、全委員が了承したにもかかわらずですよ、私たちが当選すりゃ必ず付けますということを平気で街頭でやる政党もあるんだから。少なくとも、各党派全体の意見で決意が出たわけですね。我が党では決議するのか、要望書にするのかということをいろいろと議論があった。決意がきついんじゃないの、要望書の方がいいんじゃないかという話が出たんですけども、いつまでたってもやらないんだから、一番きつい決意がいいだろうということで、決意にしたんですね。

どの程度、副区長、重く受け止めますと言うけれども、一体、重く受け止めているだけですか。結論は何にも出さないんですか。

○副区長 ブンブン号を停止にしてから、速やかに実施できればよかったんですけども、間があいてしまって、それは本当に申し訳ございません。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

それで、この7月を目途に走らせるということで進めてまいりましたが、地元の方がいろいろな意見が、新しい意見が出てきて、7月に実施するのは非常に難しいというのが今の実態です。

ですけれども、早急に今、交通対策の方も地元と精力的に取りまとめを行って、7月には間に合わないんですけれども、何とか秋までには地元の方と合意を図り、走らせられるように今進めているところでございます。

○白石正輝委員 これ最後にしますが、説明会じゃなくて、説明会でもいいですよ、こうしますという話を、はっきりとその説明会で打ち出せますか。交通対策担当部長、そうすれば、これが選挙の材料にされなくて済むんですよ。どうですか。次の会で足立区としては必ずやりますよということを打ち出せるのか。

○交通対策担当部長 地元の皆さんと御議論させていただいているところでございますけれども、秋に向かって進めるに当たっても、運輸局への申請等がもう2か月とかそれ以上掛かりますので、前段で考えれば、7月ぐらいまでにはその形が固まっていなければいけないと考えますので、次回委員会では、その姿を御報告させていただければと思います。

○白石正輝委員 最後にしようと思ったんですが、私が聞いているのは、説明会で打ち出せるんですか、出せないんですかということを聞いているので、余計なこと言わないで、それに対して答えてくださいよ。

○交通対策担当部長 恐れ入ります。繰り返しのようになって申し訳ございませんが、7月になれば説明できるようになります。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑ありませんか。

○ぬかが和子委員 何点が質問しようと思っていたんですけれども、今、花畑地域の話が出たので、続いて花畑地域の話から質問させていただきます。

先ほどの報告の中で、私は、この説明会を2回

やって、どちらも50名、本当に大勢の方が参加をしているというのは非常にいいことだなと思っていて、やっぱり関心が広がれば、そのあとの社会実験も、それから本格運行に向けても成功の度合いが高まるわけですね。

だから、そこは引き続き地域の方々の声を大事にさせていただきたいというふうに思っています。

どうでしょうか。

○交通対策担当部長 今、ぬかがが委員おっしゃっておりで、この説明会につきましても、1回目を2月に平日の夜やったんですけれども、是非、土曜日とかの昼間にという御要望もいただいて、2回目も実施しております。地域の声をいただきながら進めさせていただきます。

○ぬかが和子委員 それで、私は、この地域の協議会、いわゆる担い手になる協議会と区側と運行事業者、タクシー会社ですかね、その3者の協議が進んできた、よかったですみたいな話を聞いていたので、説明資料はこれだけかもしれないけれども、もう少し中身が出るんじゃないかと思っていたんですが、その辺の状況を教えてください。

○交通対策担当部長 実際に運行する経路、それからバス停と言うんですか、乗降場所、そういったところの今検討の最終詰めをやっておりますので、まだ皆さんに御報告できる状態ではないんですけれども、当初は1回出させていただいた内容よりも、若干、少し距離が延びている部分だったり、あと、乗降場所を少し増やしたような状況で今検討しております。

○ぬかが和子委員 それもそのはずで、私もそうだなと思ったんですけれども、当初出させていただいたのは、本当に通常のバスのような、バスよりは多いけれども乗降場所が非常に少なく、やっぱり小さな交通、地域内交通サポート制度の趣旨から考えれば、本当にこまめに止まる場所がある、また乗降場所が、地域の中でも本当にここ必要だよねというところを乗降場所にするということは

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

とても大事だなというふうに思っているんですね。

それと、協議会の中で出た話の中で、うちの議員から聞いたんですけども、うちの議員も直接出ていたわけじゃないですけども、結局、秋に始めるということで、話し合いをしている中で、いろいろと住民の方が要望をすると、そんなこと言っていると秋には始められませんよという言われ方をしてしまったそうなんです。それは何なのかと考えると、例えば、その乗降場所について、いつまでにどうしなきゃいけないのか、それから予算上どうなのか、やっぱり予算上しっかりと担保して、そして、本当に地域の願いにかなうようなものにしていけるのかとか、そういう道筋を明示して、誰も別にもっと伸ばしたいと思って議論しているわけじゃないわけだから、よりよいものにしたと思って議論しているんだから、その議論できる材料をもっと丁寧に、当事者の住民の方々に提示していく協議会に、その必要があるんじゃないかと思うんですが、どうでしょうか。

○交通対策担当部長 これまでの中でもスケジュール等を示させていただいてはおったんですけども、もう少し詳しい、そして、1週間ごとだったりと、か、そういった取組でどういうふうに後ろが変化していくとか、そういったことも、時間的な内容についても皆さんとも共有できるように、あるいは、どういう手続があるのか、それに期間がどれだけ掛かるのかとかということについても、分かりやすく一緒に共有できるようにはしていきたいと思います。

○ぬかが和子委員 それから、この花畑地域と常東地域、両方に共通する課題として、前回の交通委員会のときに、ほかの練馬区、台東区など見に行ったという報告の絡みで、どちらも検証運行だと言いながら毎日運行しているわけですね。やっぱり週に2日とか3日というんじゃないか駄目なんじゃないかというのを前回私申し上げたところ、そのときに区はこういうふうに言っているんですね、

皆さんからそういうお話いただいている、タクシー事業者も参加いただいて、事業者としても可能かどうかということも含めて話をさせていただいておりますのでということをお答えしているんですね。その後どうなったんでしょうか。

○交通対策担当部長 やはり花畑のところも地元のタクシー事業者なんですけれども、これまでの前提もございますので、そこで毎日とかということのはちょっと対応が難しい、あるいは1人で運行できるところじゃなくて、2人でとかということになってきたときに、それ全部対応できるのかということ、なかなかやっぱりそこは難しい部分が出てくるというようなことでございます。常東地区につきましても、これ実際にまだやってみてないのに、そこを毎日多くの運転手を付けるという予定を立てるということ自体が、やはり皆さん方はちょっと慎重になっている部分もございます。

○ぬかが和子委員 でも利用者からすると、例えば常東地区で言っても週2日でしょ、火曜と木曜日。それで、いよいよ登録に向けてやっていくんですということを今回報告で上げられているわけけれども、これ私も聞いてみたんですけども、やっぱり病院の曜日が、うち毎週水曜日なのよとか、本当は利用したいのにこれじゃ全然利用できないのよという声は出るわけですよ。それを、週2日で足りる地域内交通というのは、私、あり得ないんじゃないかと。つまり、別に区は予算から出発しているわけではないとこの間答弁はしているんだけど、やっぱりそこにも制約をされている意識が働いているんじゃないかと。本当に必要なことをどうやったらできるかという立場でやってほしいと。これは花畑も常東も同じだと思うんですよ。是非、やっぱり週2日、3日というんじゃないか、せめて4日とか5日とか、土日とはとかとか、そういう形じゃないかと交通として成り立っていないんじゃないかと思うんですよ。

具体的に、私、病院行くのに、常東地域で利用

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

したいという90過ぎた方がいらっしやって、聞いたんだけど、残念だけれどもどうやっても利用できないと、曜日が違うから。やっぱりそういうことがないようにしてほしいんですよ。どうでしょうか。

○交通対策担当部長 私どももこれまで予算がということについて、特に、まずそれを前面にということではお話はしてきておりません。

しかしながら、やはり実験を進めていくに当たって、サポート制度を、ほかの地域の皆さんにも御理解いただくためにも、ある程度1人当たりを運送するのに1, 500円程度、もしかしたら今もう少し上がってきているとは思うんですけれども、そういった金額で運行を試みていこうということで進めておりますので、最初から前日とか4日とか5日とかという形で進めることには、特に城東地区なんかは、やっぱりシステムを使っている関係もございますので、経費は掛かっております。それを協賛金でカバーしようという内容でもございますので、そこは地域と一緒に話をしながら、なかなか利用いただけない部分あるかとは思うんですけれども、まず御協力いただいて、スタートさせていただきたいというふうに考えております。

○ぬかが和子委員 だから1人当たり大体1, 500円めどで試算してやっていくという、今そういうお答えもあったけれども、それだって利用する人が、本当に必要な人が利用できなければ、意味ないとは言わないけれども、非常に意義が減少してしまうわけですよ。そこは、きっと同じ答弁になるから繰り返しは申し上げませんが、しっかり考えていただきたいと。

前回、これは花畑地域の方の話で、いわゆる、乗り切れない場合にどうするんですかということについて、交通対策担当部長が、特に朝の時間に病院に行かれる方も多いと思うので、乗り切れないということにならないように、また、タクシー

事業者が持っていっしやる車じゃなくて、準備できないかということも検討していますという答弁しているんですが、この辺はどうでしょうか。

○交通対策担当部長 今の段階では、検討は確かにやらせていただきました。乗り切れないということについてはタクシー事業者とも今話を進めているところでございますので、ダイヤの組み方だったり、あまり間隔開かなければ、そうでもないのかなということもございます。

あと、スタートさせる位置を、花畑の場合は桑袋の方からスタートさせるのと、その次はもう少し南側からスタートさせるとか、そういったことで工夫することもできるかなというふうに考えております。

もう1点、車両の話につきましても検討しているところでございますけれども、一旦はタクシー事業者のワゴン車でまずスタートするということで、それプラスで、あと乗り切れない場合の対応を、若しくは仮の話ですけれども、乗れない人がいた場合に連絡をして、そこからまた別の車で乗せてあげるとか、そういったことも含めて、できないかをまず考えていきたいと思います。

○ぬかが和子委員 結局、検証運行始まってからも僅か半年しか期間がない、検証期間がね。本来1年までは延ばせるわけですから、そういう中で、よりよい形をつくっていただきたいというのは強く申し上げておきたいと思います。

それから、陳情事項でもありますけれども、廃止されたはるかぜの部分、はるかぜ、取り分け3号、10号、これは、今年度動き出すということを行っているわけですね。この辺については今回全く報告ないんだけれども、どういうふうに動こうとしているのか、この間、前回の委員会から何か動きがあったのか、お伺いします。

○交通対策担当部長 こちらの委員からも御指摘いただきまして、はるかぜ3号の経路が、もともと国際興業が走っていたところなんですけれども、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

舎人から伊興を通して西新井ということだったんですが、そこについて、私も共同事業やっている事業者の方にお話をちょっと伺ったりとかしている状況ではあるんですけども、まだそうしたところに、新たなところへ手を出すというんですか、そういった状況には今ないということで、それは逆に恐縮されてらっしゃったところではございます。

10号の方につきましては、扇地区で、また地元の方とお話をさせていただいております。こちら地元の平場の町会の中で少し検討いただいているところもありましたし、また今度、近々に都営住宅のところで自治会とも一緒に話をしようということで取組を進めているところでございます。

○ぬかが和子委員 確かに10号では、私も都営住宅の自治会長からも、今回の地域内交通サポート制度、基本計画では10地域を目指すということを言っていて、しかも条件としては、5世帯以上希望があれば検討するみたいなこと書いてあるんですよね、サポート制度の案内の中に。そう考えると、本当にグリーンスローモビリティのような小さな交通で、この都営住宅の高齢者をターゲットにしながら、本数の多いバス停、メインになる場所、そこまで行くようなものもありなのかなというふうに思いますし、しっかり検討していただきたいと思うんですね。

ただ、その前段の3号も含めてのところで、先ほどちょっと恐縮されという話ありましたけれども、正に今回、共同運行の契約内容については今回の委員会の報告事項なわけですよね。その中で、それは、今までのこの共同運行の路線の問題ではあるけれども、じゃあ区はどういうふうに働き掛け要請をしてくれたのかと。本当に区としてやってもらいたいという姿勢でいるのかということをお伺いしたい。というのは何でかということ、前回の委員会のときも、今回のはるかぜの点では共同運行をしている事業者と話しています。同じよう

なお答えの状況だったので、引き続きやらせていただければと、今日と同じ答弁なわけですよ。

そうすると、じゃあ区は本当にやれるならやってほしいという意思を持って働き掛けをしてくれているのか。区長名で要請をしてみるとか、そういうことはしたのか、どの程度の働き掛けをしたのかを具体的にお伺いしたいんです。

○交通対策担当部長 恐れ入ります。その点につきましては、書面でとか、区長名でとかということまでは至っておりません。あくまで共同事業のお話をする中で私もお話を伺っているというような状況でございます。

一方、進め方の中では、その地域、伊興の地区の七曲がり走っていたバスがなくなったことについての聞き取りも少し進めたいというふうに、なかなかできてない部分もあるんですけども進めたいと思っております。そういったお声もいただきながら、実際に本当に西新井の駅までを結ぶのがいいのか、それとも、またその行き先として違うということであれば、地域内交通でむしろ対応したほうがいいのかということもあろうかと思っておりますので、その辺もちゃんと確認をした上で進めていく必要があると思っております。

○ぬかが和子委員 前回、何でこれ質疑したかという、やっぱり地域の方々と一緒に情報を共有しながら、まずは、地域の要望は、やはり共同運行でほかの事業者と話をしてほしいというのが会長さんも含めての声だったわけですよ。だからそこをはっきりさせてほしいわけ。本当にそこが現段階では無理ですよということがあるんだとしたら、それはそれで、次の段階に行かざるを得ないことはあるわけですよ。ブンブン号が今度こういう地域内交通サポート制度になったように。だけれども、まずその前段のところで、どうなんですかということ、どうですかと何か話のついでに言うんじゃないくて、正式に、区として強く求める、区としてもやってもらいたいという意思を持

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

って対応してもらいたいというふうに思っているんですね。どうでしょうか。

○副区長 今、交通対策担当部長は打合せしているという話をしましたけれども、私ども委員会の答弁でも申し上げましたが、運転手不足で、無人バスも今年度中に検討していきますよという話をしています。それも含めて、実は具体的に、企業とは私も含めて話し合いをするということで、今週末話し合いしますけれども、そういったことを含めて、はるかぜが廃止になったところには導入についても検討していきたいと思っています。

○ぬかが和子委員 そうすると、先ほどもお答えあったように、次の委員会は6月の後半、7月になりますけれども、そこまでには何らかの動きを御報告いただけるということでしょうか。

○交通対策担当部長 報告させていただきます。

○杉本ゆう委員長 ぬかが委員、大丈夫ですか。

ほかに質疑ありますか。

○加地まさなお委員 おはようございます。陳情、この内容をちょっとまた確認させていただいて、やはり先ほどもうずっとおっしゃっている、まず運転手不足というところで、現状、改善の見込みというか、タクシー運転手の方も増えていっているのかということも含めて、区の方でどれぐらいその状況を把握しているのかということをお聞かせください。

○交通対策担当部長 前回、その前にもたしかお話があったかと思うんですけれども、状況としては、タクシー事業者、仕事は増えているということで、募集も随時やっている中では新規で入ってこられる方もいらっしゃるということでは聞いております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。

お給料が高くなってきているというのも情報出てきているので、その中で、ドライバー増えてくれればいいと思うんですが。これ陳情の内容

を見ると、2種免許やっぱり持っている、そういったドライバーじゃないと、やっぱり安全を担保できないからという陳情内容なのかなというふうに私は感じていますが、区の方ではどういふうちにこの陳情内容を捉えているかお聞かせください。

○交通対策担当部長 区の方から事業者に委託して運行してもらうということになれば、2種免許をお持ちの方の事業者に運行いただくという必要性が当然に出てまいります。

一方で、これは以前にもお話出ていたかと思うんですけれども、ボランティアによる運行であれば、そこについては普通免許で構わないというような状況というのは認識しております。

○加地まさなお委員 2種免許を、これはタクシー、入社して、それなりにいろいろ資格があるんだろうなというので、また再度調べさせていただいたら、実はこれ勘違いしてしまっていて、昔の感覚でいたんですが、去年の5月、規制緩和されていると。この内容が、実はこの陳情の内容と真逆の方向に規制緩和が進んでいるということを、多分、区民の皆さん知らないんじゃないかなというところで、本来だったら、地理試験というのがあって、これ国家試験なんですけれども、東京とか名古屋とか神奈川とか、大都市ですよ。ここでタクシードライバーになるためには受けなければいけない。これ50%の確率みたいなんですよね。そんなに簡単ではないものだったみたいです。それと同時に、それを合格した後に、タクシー事業者の中で、研修ですよ、ドライバーの研修を行っていたんですが、これも大幅に削減されている。誰でもできますよと、もう19歳以上で1年間免許を持っていたら、そういうものクリアすれば誰でもタクシードライバーになれるんですよ。これは本来、安全を担保するためにあった資格なのに、国の規制が緩和されている。ということは、安全を担保していたものがなくなっているとも取れるんですが、区の方はどういふふうに捉えていますか。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○交通対策担当部長 先ほどちょっと申し上げましたけれども、区から委託をして事業者が運行いただくというのは、運行管理者が会社の中にいらっしゃって、毎朝の点検ですとかをやる、それから運行車両についての点検を実施するという、そうしたいろいろな安全の確認をしながら運行いただくという点でのメリットがあるというふうな認識でございます。

○加地まさなお委員 これ陳情は、安全に、常に病院とかお買物とか、皆さん行きたいという中で、運転手不足で、足立区は事業者を主にすると。でもその中身を見てみたら、前回の委員会でもお伝えしましたけれども、外国人ドライバーも増えてくる可能性が十分にある。外国人ドライバーがいけないのかと言うつもりはありませんが、日本の文化とかルール、言葉ですよ、そういった壁は非常にハードル高いと思うんですよ。ただ、それを補えるぐらいに、マップとか、そういうAIの技術を生かして、誰でもできるようにしているという点は、いいとは思いますが、でも陳情の内容がやっぱり安全性なんですよ。2種免許、今聞いたら多分安全性はこれ担保できてないんじゃないかなと私は思っています。

その上で、先ほどの地域で、コミュニティの中でボランティアドライバーという選択肢というのは、これから検討しなきゃいけないんじゃないかなというふうに私は思います。今お伝えさせていただいたように、タクシードライバーの安全性が既に担保されていません。なのに、タクシードライバーの2種免許という名前のものを持っていたら、その地域の、例えば花畑だったら花畑地域のどこに何があるとか、ここに大鷲神社があるとか、そういったことも関係ない、そんな資格も要らないというふうになっているんですよ。ならば、地域で、前回もお伝えさせていただいたんですが、お仕事を定年退職されて、しかしまだ車も持っていて、地域の活動に参加したいという方にお仕事

をお願いするというのは、これ十分に皆さんが求めている陳情内容に沿うと思うんですが、いかがでしょうか。

○副区長 2種免許の緩和については、昨年9月以降、実証実験等を行って、一定の安全性を確保できるということで、警察庁が今の体制にしたということです。私どもは一定の安全性を確保できているというふうには思っています。

あとは、地域の皆さんが2種免許を持っていないくてもできるのではないかということについては、地域の皆さんで、ある意味、有償ボランティア的な形で実施していただける方がいらっしゃれば、是非お願いをして運行したいと思っています。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。

私、運送会社でずっと働いていまして、今も運送会社やっています。免許は2種免許持っていない。ですが、誰よりも安全運転ができるというふうに、それはゴールド免許を続けていますので、そこで評価はされていると思っています。毎日ほとんど運転をしてきました、何十年も。それでドライバーに必要なのは、やっぱり経験です。経験というのは、今までも皆さんも御存じだと、分かっていると思いますが、免許を取ってすぐのときと、何十年免許持って運転しているのとは違うと思います。そういった経験値を持っている方に協力をしていただき、地域の皆さんの足が増えるとなれば、これは非常に有効だと思いますので、是非、どんどん地域内交通サポート制度の中にも取り組んでいっていただきたいと思うんですが、すぐにはできないと思いますが、ライドシェアの話にもつながってきます。ライドシェアも2種免許持たなくてもできる。ですから皆さん不安になっている。その中で進んでいかない。これ多分、何か皆さんが求めているものと国がやろうとしていることがちぐはぐになっていることが原因だと思うんですね。それを区の方でちゃんと説明をしていただいて、そうじゃないんですよ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

と、運転免許というのは、別に2種免許持っているから安全というわけじゃないですよと、これだけ規制緩和されているんですよということを、地域の住民の説明会のときにでもお話をさせていただくことは一定必要なのかなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 ボランティアについては、あくまでも、やっぱり地域の、例えば協議会をつくってお話をしていく中で了解を得られる必要が当然あるかと思います。

それで一番は、やっぱり地域の方々と顔の見える関係のドライバーさんというんですか、そうした方が御協力いただけることが安心にもつながるのかなというふうに思います。

ですので、一方で、ちょっと範囲が広がってきたときに、そうしたところを、どこまで整理ができるかというところについては、やっていく中で相談させていただきたいというふうには考えております。

○加地まさなお委員 すみません、ちょっと長くなってしまいますが、もう1点、この小さな交通の中で、皆さんが移動できる、快適に安全にという中で、自転車、去年の委員会でもちょっと提案させていただいたんですが、3輪自転車等で皆さんに、健康でまだ自転車乗れるけれども2輪自転車は乗れないよとか、そういった方でも、3輪自転車で電動アシストとかであったら、そういうのも貸出してくれたら、ふだんは乗っていくけれども、調子がいいときは、そういったものも乗りたいなというふうにできることをするのが小さな交通の枠組みに入るのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 区内、自転車のシェアリングも実施させております。事業者とも話を聞いている中で、やはり3輪の、今、加地委員おっしゃっていただいたような形のものを各社開発をされております。もう既に、場所によっては、ペダル

のないタイプでの20キロ以下ぐらいで走れるような内容のものも配置されているところもございますので、今後は、そうしたところについても、区の方としても、話があれば、是非置いてくださいということは進めていきたいと思っております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。

なぜ私これ言うのかというと、シェアサイクル、私、最近本当に結構使わせてもらっていて、非常に便利なんです。ですが、やっぱりそれは高齢者の方にはしてみたらハードルが高いんですよね。これを使わなきゃいけない、登録も難しい、しかも自転車おっきいのしかない、大体がですね。乗れないから、本当は自転車乗りたいけれどもというふうに、選択肢がやっぱり限られてしまっている中で、市がそういう技術があるんだったら、そういうのも取り入れていただければ、小さい交通の、これMa a Sという考え方、多分御存じだと思うんですが、いろいろなサービスを取り入れて、交通を便利にしていくということだと思います。

その上で、前回、話ちょっと変わりますが、高校生がモギ区選挙でというのを行いました。そのときに、足立区は平たん、自転車に向いているんだと。だからそういった自転車への取組を進めていくべきですと。その上で、これは高齢者のフレイルにつながるんじゃないんですかという視点を教えていただきました。こういう視点、高齢者に対してのフレイル予防に自転車というのはなるかどうかというのは、足立区の方ではどういうふうに捉えていますでしょうか。

○高齢者政策推進室長 確かに自転車は有酸素運動、距離、時間的なものもありますけれども、という点では一つフレイル予防にはなるかと思っております。歩行がちょっと難しい方でも自転車だったら移動できるという方も中にはいらっしゃると思いますので、その考え方一つあるかと思っております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。是非その視点があれば、フレイル、予防なので、小さ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

い交通取り入れながら、高齢者の皆様が自分でできる限り活動をして、それが健康につながるというのは決して悪いことじゃないと思います。

そして、「うできき足立」、多分皆さん見たと思うんですが、足立ブランドですかね。その中に、堀田製作所、自転車、私知らなかったんですけども、もう長年にわたって、昭和54年から障がい者向け自転車をつくったり、お客様に合わせたオーダーメード、電動付アシストの自転車を製作されている。これ大変評価されている堀田製作所、足立ブランドにも入っているのかなと思うんですが、こういったところをお願いをして、今、交通困っているんですよ。確かに小さい交通でコミュニティバス等も考えて、できないから、どんどんバスも入れますが、小さい交通やりますが、こういう3輪自転車なんかも取り入れたいと、何かアイデアをいただけないですかねと、そういった話合いというのをしていくということは、小さな交通にとっては非常にメリットだと思うんですが、いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 堀田製作所、私あまり存じ上げなかったので、大変申し訳ございません。お話としては理解できる部分でございますので、そこについては、是非私たちもどういことができるか、まず考えていきたいと思います。

○加地まさなお委員 これ、もうすぐにでも、多分足立区にあるのでお話伺って、お話伺えばまたアイデアが出てきて、高齢者の方が元気に外で、お買物とか、病院に行けるとか、その上で、体調悪いよと、だったら、小さい、あれですよ、移動できるタクシーもありますしという選択肢をどんどんどんどん広げていっていただいて、フレイル予防していただいて、足立区の高齢者の皆様は、ほかの地区よりも元気な方多いですよというように取組になると思うので、是非これは要望させていただきます。

以上になります。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑ありますか。

○吉田こうじ委員 それでは花畑の交通網について、少しだけ。

区と、それから協議会の皆さんと地域の皆さんと、それからタクシー事業者との3者で、やはり協定を結んでいって進めていくというのは非常に重要な話だと思うんですけども、やはりどちらか2者だけでお話をしていくと、いろいろな疑心暗鬼が生まれて、またそこで信頼関係が損なわれるなんていうことも往々にして考えられます。やはりこの3者でしっかり協定を結ぶ限りは、連携を密にして、必ず何かやっていく場合はこの3者で進めていくんだというところを是非とも忘れないでいただきたいと思うんですけども、この辺についてはいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 これまでもやはりお話をさせていただく中で、それぞれがやっぱり検討する期間というか時間というんですか、そうしたところもあったかなと思います。また、3者でそろってというときに、なかなか時間が合わなくて、2者でというような状況もございました。先日、3者でまた集まって実施ができたところなんですけれども、改めて、やっぱりそれぞれのお考えであったりとか、事情だったりとか、そういった状況を3者が共有できますので、是非3者で集まって共有を進めていきたいと思います。

○吉田こうじ委員 是非よろしく願いいたします。やはり区が主導していただいている部分は、やっぱり区と事業者、区と地域の方という、また事業者と地域の方との間で、いろいろな意見のどういうことを考えているんだろうかということで、区の見えないところで、皆さんいろいろ心配なさることも多いと思いますので、それは、その3者の信頼をしっかりと固めながら進めていっていただきたいというのが1点。

それから、もう1点なんですが、白石委員からもぬかが委員からもあったんですけども、先に

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

進めるに当たって、何よりも、ここでうまくいなくなりそうだとか、何か壁ができたなんていうときには、やはり原点に戻らなきゃいけないと思うんですね。この原点は何かというと、やはりブンブン号が残念ながら区が考えていたような計画には乗れなかったというところがまずスタートだと思うんです。ですから、このブンブン号がなぜうまくいかなかったかというところをもう一度、何かあったときにそこを振り返って、原点に戻って進めていっていただきたいというのが一つ思いなんですけれども。というのも、ブンブン号のときも、各地域の様々な方々、町会・自治会をはじめ、様々な方々が大きな協議会をつくって、しっかりと進めてきてブンブン号というのがスタートしたわけなんですけれども、そこに至るまでにも、きちっと区の方で前もっての調査をして、ここはバスが最適だろうという結論のもとで進んでいったわけなんですけれども、やはり今回は地域の方が協議会をつくっていただいているという部分で、地域の方がブンブン号のときの協議会でいろいろ話し合ってきた、長く話し合ってきた、そこを同じ道をたどって、今回の協議会の人たちがそこをたどっていけば、当然やっぱりブンブン号と同じような心配というのが出てきて、やはりブンブン号と同じようなフルスペックを望まれるんじゃないかなと思うんですね。ですから、ブンブン号のときはこういうふうにしたらこうだったんです。だから今回はこういうふうにしたいんだというようなことも含めて、丁寧にやはり進めていただかないと、先ほどちょっとお話が出たような感じで、いついつまでに決めないと走らせられませんよとかという、そういうところばかり協議会の皆さんの頭に残っちゃって、やっぱり有意義な話合いができないんじゃないかなというふうにも思います。ブンブン号のときの、大勢の方が関わって、残念ながらというあの結果というのは、私、あのときいろいろな、決算特別委員会とか、それから

定例会でも質問させていただいている中には、言わせていただいているんですけども、あそこをよく区は分析をして、研究をして、反省すべきは反省をして、そこで得られた結果をしっかりと前に進めていこうということで、今回、地域内交通導入サポート制度というのができたわけですから、その辺をしっかりと原点に立ち返りながら進めていっていただきたいなというふうにも思うんですが、この辺の見解はいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 私たちもこの花畑の地域、長く取り組まさせていただいております。その中で、やっぱりバスではなかなか難しかったという反省の中で、もう少し小さい範囲の中での地域内交通、今回検討させていただいております。

ブンブン号の際は、ちょうどコロナの時期もあったので、約1年半ちょっと準備期間を取らせていただいて、令和3年の10月からスタートということになりました。そう考えますと、事前の検討では、確かにある程度時間も掛かるということもあるのかなとは思いますが、しっかりと原点に立ち返ることもやりながら、この先の計画について、地域の方々と議論していきたいというふうに思います。

○吉田こうじ委員 常東地区は、その辺のシステムをしっかりと事業者が担って、間をうまくコントロールしていただけるアイシンがいるんですけども、花畑の場合は、本当にそれぞれがそれぞれの目的を持った3者が集まってる協議体だと思いますので、是非その辺は丁寧に進めていっていただきたいなというふうに思います。

また、今回、特別委員会一つの区切りになるかなと思うんですけども、将来的なお話で、例えば、花畑なんかの場合は、外河原の通りというのが都道で非常にメインの通りなんですけれども、あの通りと並行して、川側でも、また川の反対側でも、並行して走っている、住宅街の中を静かに走っている道路があるんですね。静かに走っている道路

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

というか、ふだんあまり車が通らないようなところがありまして、ああいうところも高齢者が多いので、今回の交通網もそうなんですけれども、例えばそういうところをグリーンスローモビリティが、観光とか人集めのためだけのグリーンスローモビリティじゃなくて、本当の地域の皆さんの足として使っていただけるようなグリーンスローモビリティなんていうのも、私はほかの車に迷惑掛けなくて走れるところなんじゃないかなと。あと、例えばあそこには花畑5丁目に花畑団地があります、URの。大変大きい団地で、花畑5丁目なんだからフェルックス近くだろうと思いきや、端っこの方のエスレートの方なんか行くと結構な距離があるんですね。ですから、そういうところを、団地の中をゆっくりグリーンスローモビリティが高齢者の皆さんの足になって走っていく。これも将来的には、私は姿として描いていてもいいんじゃないかなというふうにも思います。

それから、もう1点、受益者負担という感覚からいうと、やはり1回乗るのに100円なり200円なりというお金というのは必要なかとは思いますが、私は逆に、今、物価高騰が続く中で、高齢者の方々が10円安いところ5円安いところのお店に行きたいと。そういう思いでバスに乗るのに、バスというかその交通を利用するのに、やはり100円取られるんじゃないかなと頑張って歩いて行こうかというふうにもなりかねないんじゃないかなというふうにも思うんです。受益者負担というのを、ただの運賃とかという形じゃないところで、例えば半年、1年間、この交通を使っていただくための会費として、例えば年間500円頂きますとか、年間1,000円頂きますとか、1,000円だとシルバーパスと同じになっちゃいますので、その代わり、乗るときは乗り放題で、ただですよとかいう形にも将来的には考えてもいいんじゃないかな。もしそういうふうになれば、もしかしたら、うるさい陸運局だとか、そういう

ところの仕組みから逃れることもできれば、コースを変えたり、時間を変えたり、いろいろ地域の皆さんの御意向に沿った形で交通網を変えていくこともできるんじゃないかなと。今の定時定路線ですといろいろな縛りがありまして、すぐ変えたいといっても、やっぱり数か月掛かっちゃうというデメリットもあると思いますので、そういうことも一つ頭の隅に置いていただきながら、この交通の仕組みを進めていただきたいなというふうに思うんですけれども、副区長いかがでしょうか。

○副区長 今の御提案、非常に貴重な御意見かなというふうに思います。運賃ではなくて、別の制度でそれを担保する、地域の中で担保していただけるというのは、非常に発想として、私どもも学ばべきことかと思えます。

その辺についても、花畑ですすぐできるかというのはちょっと難しいかもしれませんが、今後、新しい交通を考えていく上では、そういうことも検討しながら進めていく必要があると思います。

○吉田こうじ委員 じゃあ花畑はもう1点だけ、是非よろしくをお願いします。

あと、車両についてなんですけど、やはり事業者も営業しながらのこの取組に参加していただいているわけですので、この取組だけのために新しい車を、大きい車を用意するというのもなかなか難しいのかなと。でも、将来的には市川委員が必ずおっしゃっているように、車椅子が乗れるような車両であったり、少しでも1人でも多くの方が乗れるような車両であったりという備えはやっぱり必要になってくるのかなというふうにも思うんですけれども。その辺に対しては、やはり実験を進めていく中で、具体的にどういう形で、そういうところを区がサポートしていけるかなというのをちょっと真剣に考えていただきたいなと思うんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 サポート制度の中でも少し触

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

れさせていただいておるんですけれども、社会実験を実施する、まず最初の段階としては、事業者のところでは車があればそれを利用させていただくということを考えております。

御意見のとおりで、バリアフリーの車両についても検討していくというふうにもしておりますので、そういうものについても、今リリースでそうした車両がなかなかすぐに用意できない状況もあるというのも聞いておりますので、先の状況が見えてきた段階で、車両についても併せて準備をしていくなどの方策については検討していきたいというふうに思います。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑ありますか。

○佐藤あい委員 花畑ですとか常東は他の委員の方からお話等ありましたので、私からは、ほかの地域の検討状況、前回の委員会から本日までで何か、他の地域の検討状況で動き等あれば教えていただけますでしょうか。

○交通対策担当部長 一つ先ほどちょっと御答弁差し上げたんですが、はるかぜ10号が走っていた扇の地区、西新井の方から扇の地区については、地元の方とお話をさせていただいて、今後また都営住宅の方ともお話をする予定を今入れているという状況でございます。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

特に、具体的に地域内交通とかを検討にまで至るというところはまだないということですか。

○交通対策担当部長 今、そうですね。すぐにというのはまだないですね。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

今後、様々な地域、このはるかぜ10号の地域もそうですし、そのほかの地域も地域に合った交通というのを検討をしていく、地域の皆さんと考えていくというのは、進めていく必要があると思います。

そういった中で、これから実証実験が始まる花畑や常東も含めてそうなんですけれども、実際走

ったときに、区民が利便性などの実感がきちんと感じられているかどうかというところ、すごく重要かと思います。中野区などでは交通施策の成果指標に、区内移動の快適性に関する満足度というものをご指標に入れておりますけれども、これについて足立区ではどうお考えでしょうか。

○交通対策担当部長 世論調査の中には公共交通についての問いが幾つかございます。また今回も、常東地区もそうなんですけれども、自主実験を実施する際には、利用の方、それから登録をいただいた方々にアンケート等を実施させていただくことは予定しております。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

是非そのアンケートの中で、そういった利便性の実感もそうですし、外出頻度が上がったとか、介護予防効果などの福祉的な部分も確認ができるような内容にさせていただけたらと思います。いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 福祉的な部分ということなので、一緒にやらせていただいておりますので、検討します。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○杉本ゆう委員長 質疑なしと認めます。

それでは、各会派の意見をお願いします。

○伊藤のぶゆき委員 3件とも継続で。

○吉田こうじ委員 3件とも継続をお願いします。

○ぬかが和子委員 先ほどいろいろ議論された中で自転車の活用のことも話に出てきたと思うんですが、私も、もうそれこそ10何年も前に、平地の活用してという、自転車積極活用という提案はずっとして今に至っているんですけれども、ただ、それと高齢者、車両ですので自転車は、やっぱり車両として公道を走るという上では責任が生じると。だから免許の返納と同じで、軽車両ということで、そこは、やっぱり高齢者が自転車に乗れるような環境を整備して、それでいいんだと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いう話には絶対ならないでほしいと。やはり高齢者が地域の中で、本当に交通、移動の心配がない、いわゆる交通弱者と言われる方の移動の心配ない足立区を目指していただきたいというふうに強く求めます。

3件とも採択を求めます。

○加地まさなお委員 3件とも継続をお願いします。

○佐藤あい委員 3件とも継続をお願いします。

○土屋のりこ委員 5の38のグリーンスローモビリティに関しては前回質疑しましたが、SDGs未来都市事業の観点の中で実現をということ求めて、採択を求めます。

6の5と6の6ですが、先ほど来、2種免許のことで議論がされていましたが、免許制度が緩和されたからといって、タクシー運転手では安全が担保されないというのは暴論だと思いますし、論理の飛躍であって、働いている人たちに非常に失礼だと私は思います。そういった区内タクシー労働者の全てを敵にするような立場には足立区には立ってほしくないということを求めます。2種免許の意義を認めないような立場に足立区が立つことのないよう強く求めるものです。物を運ぶことと、人間を運ぶことを同列視するずさんな論理はナンセンスだと思いますし、2種免許を保持しない人にゆだねるべきではないと、この陳情の中で言われている点を私も強く主張し、採択を求めます。

○市川おさと委員 みんな継続なんですけれども、2種免許については、交通事業者をお願いする場合は当然2種免許持っているという形になるという説明ございました。しかし地域の人、ボランティアをお願いするなら、2種免許持っていないこともこれは当たり前の話でありまして。大事なのは2種免許の有無じゃなくて、安全性の担保、これ区の事業として行うわけですから、区が安全性をどう担保していくのかということが重要であります。そういった意味で、2種免許の有無というこ

とだけにこだわるのではなくて、安全性の担保、事前のですね、事前にしっかり安全性を確保すること大事だけれども、交通事業者というのは、これは必ず事故は起こります。どんな交通事業者であっても、事故を起こしてないところがあるわけないんですから。交通事業者、事故起こりますけれども、そういった場合に、じゃあどんな補償をちゃんとしていくのかという、そういったことが非常に重要だろうというふうに考えております。

それからグリーンスローモビリティについてですけれども、私は完全否定するわけではないんですが、やはり地域の人たちが求めるということ、地域の人たちがグリーンスローモビリティでいくよということであるならば、それはもう当然それはそういう方向でいくべきなんですけれども、今のところ、そういう方向は今取りあえずは見えてない、実務的には見えてないということで、3件とも継続を主張いたします。

○杉本ゆう委員長 それでは、この3件の陳情を一括で採択いたします。

この3件の陳情に関して継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○杉本ゆう委員長 挙手多数と認めます。この3件の陳情は継続審査となりました。

————— ◇ —————

○杉本ゆう委員長 次に、報告事項を議題といたします。

①②、以上2件を交通対策担当部長から報告願います。

○交通対策担当部長 それでは、2ページを御覧ください。

日暮里・舎人ライナーの利用促進・混雑対策等の取組みについてでございます。

こちらにつきましては、東京都と議論させてい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ただいている状況でございますけれども、今回、協議会を設置するということになりましたので御報告でございます。

1 番、協議会の設置の背景ということで、まずは平日の昼間等につきましては少ない状況がございますので、利用促進が必要だと、あるいは、混雑についても連携をしていくということで、東京都の方から提案があったものでございます。

2 番で協議会の概要でございますけれども、目的ですとか、協議会構成等、記載のとおりでございます。

一番下の（6）のところで、設置時期ということで、今年の5月を設置時期として予定しているところでございます。

3 番、今後の方針でございますけれども、利用促進という意味では、需要の創出ですとか利用促進を図っていく。あるいは2番のところで、オフピーク通勤の促進やバスを活用した混雑緩和の社会実験実施における連携というふうでございます。東京都と連携して、まず社会実験をやってみようというようなお話も出ているところでございます。

3 ページでございます。

有楽町線（地下鉄8号線）の整備促進に向けた取組み状況についてでございます。

こちらにつきまして、前回の委員会の中で御議論があったかと思っておりますけれども、北側の自治体の中で、決起大会の中でいろいろと発言があったのをお聞きすると、野田市と八千代市間の部分を先行して整備というような考えが伺えるがいかかかということで、足立区側から工藤副区長と一緒に野田市を訪問しまして、先方の今村副市長に確認してまいりました。先方の回答といたしましては、平成25年、平成26年当時に調査委託をやった実施していたと。それがやっぱり北側の方で実施していたというのがございまして、坂東市での決起大会でその旨の発言があったのでというお話でございました。また、今のところで、現在

は、やっぱり当時と比べても、つくばエクスプレスの混雑が厳しくなっている状況でございますので、八潮駅への直通は現実的に難しいというような考えに至っているという。当市としても、答申の中では、都心の側から当然伸びてくるものでございますので、都心側からの延伸で誘致していく考えであるというようなお話をいただいているところでございます。最後に、足立区の方で促進大会等をやる場合には参加させていただきたいというようなお話もございました。

下の方、2 番でございます。地域の機運醸成ということで、3月30日の日に葛西用水沿いの桜の通りで流し踊りが実施されました。4 ページのところに写真が掲載されております。地域の皆さん緑色の法被を着て御参加いただいて、機運醸成が図られたような状況でございます。

私からは以上でございます。

○杉本ゆう委員長 ありがとうございます。

何か質疑ありますか。

○伊藤のぶゆき委員 私からは、地下鉄8号線だけで1点だけ。コロナが明けて、地域の方々がまた機運醸成に動き出していて、この間も葛西用水のさくら祭り、その前では大和田の梅まつりでも、多分皆さんでやっていきたいと思いますという話になって、今の説明の中で、基本的には他自治体も一緒にやっていくということがあった中で、この間4月17日、16日ですか、東武鉄道から総合直通運転をするという基本合意をしたという話があったんですけども、これ具体的に説明をいただいてもよろしいですか。

○交通対策担当部長 こちらにつきましては、やはり同じように28年に答申が出ている中で事業でございます。豊洲と住吉間で答申が出ております。

そこの中に記載がございまして、観光地ですとか、東京都東部ですとか、埼玉県の方との接続ですとか、そうしたところについての検討、協議を

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

進めるようにというような内容のものがございました。それを受けて、今回メトロと東武鉄道ということで、ここの豊洲・住吉が完成した段階での効果発現というのが、こういうことができるんですよということで報告されたというふうに確認しております。

○伊藤のぶゆき委員 東武鉄道、東京メトロから出たやつで、私も何でこの説明をしているかという、地域の方々が心配されているんですよ。これだけ見ると、豊洲・住吉がつながってしまうと、このまま押上・北千住の方に行ってしまうと、今やっている我々の活動が、要するに、基本的に今の計画がなくなってしまったんですかという声を聞いたので、改めて聞きますけれども、あくまでも豊洲・住吉間が開通をしたときに、東武鉄道を使っていくけれども、我々が今やっている押上からまた亀有、そして八潮に行くような活動に関してというか計画については、特に大きな変更がないという形でよろしいですか。

○交通対策担当部長 伊藤委員おっしゃるとおりでございます。

○伊藤のぶゆき委員 そうしたら地域の方々、心配していますので、すぐにというわけではないですけれども、基本的には今までと変わらず、足立区内を通っていただく形としてやっていくということを地域の方に説明をしていただきたいと思いますけれども、要望ということで、よろしいですか、よろしくお願いいたします。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑ありますか。

○白石正輝委員 2ページの方で、舎人ライナーの利用促進の協議会をつくったということですが、今でさえ日本一のラッシュ、混雑する路線なんですね。だとすれば、利用を促進するんじゃなくて、混雑を改善するんだという協議会であってほしいと思うんですね。そのことについてどうですか。

○交通対策担当部長 白石委員おっしゃるとおりで、足立区の立場としては、やっぱり混雑緩和が第一

優先というような考えでございます。

○白石正輝委員 足立区だけじゃないですよ。足立区が乗れないんだから荒川区が乗れるはずがないんだよ。荒川区で乗れるだけの余裕があるのなら足立区の人はずっと乗りますよ。足立区でも乗れないんだから。足立区の立場じゃなくて、ライナー全体の立場で考えるべきなんですね。

前の交通委員会で、ホールの長さ測ったら、これ以上、5両、7両なんかとてもできないんだという話なんですね。

それで、副区長ちょっとお伺いしますが、つくばエクスプレスが想定外の混雑で1年目にホームの改良をしましたよね。あのホームの中で、10両編成が走れるわけがないんだから、当然ホームを改良して長くしたんですね。そういうことについては分かっていますか。

○副区長 日暮里・舎人ライナーは今5両編成で、6両ということだと思いますけれども、それに対しては、今のままのホームでは6両は無理だということころは、私も把握しています。

それでTXの方は、物すごい金額を掛けて、2030年代前半までには全駅のホームを伸ばして、6両から8両にするということで進んでいるというの聞いています。

○白石正輝委員 今のホームを測ってみて、5両編成以上できないんだというのは当たり前なのよ。5両編成が走れるようにホーム作ったんですから。実際には舎人ライナーは20年ぐらい掛かるだろうと、利益出るまでに。営業利益が出るまでに20年は掛かるだろうと言われたのが、実際には今の段階で営業利益は出ているんですね。あのホームのまま幾らやっても、測ってもそれが7両になるはずがない、5両のためにつくったホームですから。前後に延ばすのならば可能性はあっても、あのホームのまま7両にするというのは絶対不可能ですよ。そんなこといくら協議したって、現実にはどうにもならないというのは東京都の考え方

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ですよ。勝手ですよ。地元の要請で、約3分ちょっとぐらいの間隔でラッシュのときは走らせるといって東京都の答弁があったんですね。それをあなたたちは黙って聞いてきたわけ。私たちはあの舍人ライナーが走る10年前の交通委員会、荒川区の交通委員と足立区の交通委員と東京都の交通局の職員で話し合ったときに、3分間隔で走らせるから大丈夫ですよ、荒川区の皆さん乗れますよという話だったんですよ。別に3分というのは足立区で言ったことじゃないんだよ。東京都の交通局が3分間隔で走らせるから荒川区乗れないなんてことはありません、大丈夫ですよって言ったんだけど、現実には、当初は5分以上の間隔があった。何とかしろと言って、昔は3分で走らせると言ったじゃないかということは何度も言った結果、最初に話した3分ちょっとの間隔で走らせるようになったんです。それでも日本一混雑する路線になってしまった。ホームを改良する以外方法はないんですからね。この名前は利用促進だけれども、利用促進じゃないんですよ。混雑解消なんです。そのことについては、是非、東京都にだまされないでくださいよ。

東京都は平気ですって言ったから。最初ボックスシートにした、ボックスにしたなら人が乗れないからと言ってベンチシートにした。そのときに、委員会で東京都は何ていう答弁をしたか知っていますか。ボックスシートをベンチシートにしたらどういことが起こるかということに答弁したこと、多分、長澤交通対策担当部長は知っていると思いますよ。何て答弁しましたか。

- 交通対策担当部長 そのままはちょっと分からないんですけども、当然、人の数が多く乗るようになりますので、それではもたないというんですか、構造的にもたないというような御返事をいただいたのかと思います。
- 白石正輝委員 そのときに東京都はこういう答弁しているんですね。ボックスシートを全部ベンチ

シートに直すと、1両に乗れるお客さんが多くなる。そうすると、ライナーの基礎がもたないという説明だったんですよ。そのことをあなたたちは黙って聞いてきたわけだ。ライナーの基礎は阪神淡路震災を受けて太くしたんですよ。最初の基礎よりももっと太くした、20センチ太くしたんですよ。だから全体では、四角い形ですから80センチ大きくなったんですよ。それなりに、基礎が壊れちゃうからベンチシートにはできませんという答弁だったでしょう。3分に延ばすのだから、区民の要望、足立区の要望で3分間隔にしましたと、そうじゃないんだから、足立区が要望したんじゃないくて、あなたたちが説明したとおりやれと言っただけだから。

だから、この協議会で、東京都の言う事を聞いてくるだけじゃ何もならない。足立区も荒川区も乗れないんですから。東京都の言うことを聞いてきただけでは何にも前に進まない。このことについてはどう思いますか。

- 交通対策担当部長 こちらにつきましては、まず、名称としては利用促進というような形が今ここに出てはいる、仮の状態では出ているんですけども、区の方からも要望という形で、混雑緩和対策ということでの御要望もさせていただいているところを受けての動きでございますので、改めて、そうした内容についても、順番というんですか、そういったこともあろうかと思いますが、混雑緩和対策ということがよく分かるように協議をさせていただきたいと思います。

- 白石正輝委員 これで最後にしますが、この名称では、結局は請願・陳情と同じですよ。表題で考えるんだから。個別に1個1個検討するわけじゃないんですよ。表題で考える。とすれば利用促進がメインだとすれば、それは絶対に間違いですよ。今、赤字じゃないんだから、黒字なんだから。それよりも乗れない人が出てしまう、混雑をどうするかということですから、この名称は気に入らな

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

い。これ誰が提案したの、足立区じゃないでしょう、多分。東京都が提案したものですよ。東京都の言いなりになって決めてくることはないんだから。あなたたちは足立区の職員なんだから。区民の皆さん方が本当に困っているのなら何とかするのは足立区の職員ですよ。東京都はどうでもいいんだから、そんなことは。黒字になればいいんだから。だからその辺はもっと考えて、こんな名称を受けてくるなんてとんでもない話だと思います。答えなくていいよ。

○たがた直昭委員 私もライナー関連で、今、白石委員の話聞いていて、最初に、当初、対面シートから、やっぱり混雑解消ということで、我々もロングシートにすべきじゃないかという再三主張の中で、やはり白石委員が言われたとおり、そういう支柱に耐えられない設計ということで、無理ですというものを何回も非常に言われた記憶があるんですけども。またここに来て、混雑解消ということで出てきたんですけども、今まで我々も様々に要望してきたんですけども、今までの情報交換、調整等を行ってきたというのは、どういうタイミングでずっとやってきましたか。

○交通対策担当部長 年明けに区長も先方に伺って、要望活動をさせていただいております。その後、先方の事務局になっているところとうちの交通対策課の方でやり取りをさせていただいている状況でございます。

○たがた直昭委員 恐らくコロナ前から、もう乗降率が170%、180%ということで、かなり何年か前からもうずっとこういうふうに混雑解消という部分では、毎回これは出ている話だと思うんですけども、今回新たに区長が提出をして、東京都もやりますよという形で立ち上がった協議会なんですか。

○交通対策担当部長 たがた委員おっしゃるとおりでございます。

○たがた直昭委員 分かりました。

東京都から今回、ある程度しかけてきたというか、1年ぐらい前でしたか、読売新聞に、このままじゃ日暮里・舎人ライナーが危ないということで、非常に朝夕の混雑はすごい激しいけれども、昼間が全然乗っていないということで、これを何とか解消していかなくちゃいけないということで、東京都に様々な形で要したんですけども。今後、利用促進対策、これ以前にも舎人公園との連携とか、また、沿線の連携とかで、やはり利用促進をしなくちゃいけないということなんですけれども、これは産業経済部も絡むと思うんですけども、このイベント等についてはいかがですか。

○交通対策担当部長 いろいろあるかとは思いますが、今ちょうどネモフィラですか、そうしたものでライトアップをやっているということで、先日、私、休みのときに乗ったんですけども、物すごい方が乗っていらっしゃってびっくりしたところで、効果があるんだなというふうに考えております。

ただ、一時的なものになってしまうというふうにも考えられますので、やはり都心側から足立区の西部地域に訪れていただけるような状況がやっぱり常時できるように考えていく必要があらうかなとは思っています。

○たがた直昭委員 この辺は、朝の混雑対策と、あと昼間の利用の対策というのは、ちょっとかけ離れて考えなくちゃいけないんですけども、昼間に対しては、先ほど沿線沿いのイベント、交通対策担当部長も言っていましたけれども、もう昨日、おとといのネモフィラなんかすごかったですからね、舎人公園。あと、もうバーベキュー広場なんかもすごいにぎわい、そして、4月3月の終わりには、ちょっと1日雨だったんですけども千本桜まつり。ただ、その前に、あそこ東日本大震災の復興祭の祭りもやっていたんですね。ちょっと時期はあまり覚えてないんですけども、東京都がある程度主催して、酒と器の何とか祭りという

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

のもやっていて、ただ、それを聞いたときに、足立区としてはそういう情報は入ってきていませんと。ただ、これは東京都が主催しているのという話だったので、この辺はもう今後連携を取って、やはりやっていただきたいと思います。

これは昼間の対策で、これ朝夕の対策なんですけれども、最終的に混雑緩和の社会実験はバスで行うということなんですけれども、実を言うと、この間の3月の都バスの改正で、見沼代からの日暮里行きのバス、これが時間変更しているんですね。今度、加賀から日暮里に行くときに、朝6時台はあったんですけれども、7時台8時台がほとんどなくなっちゃったんですよ、これ。また9時台からずっと1時間に1本出ている。肝心の7時台8時台がなくなっているということで、これは地域の人から何でと逆に言われたんですけれども、この辺はどういうふうに聞いていますか。

○交通対策担当部長 ちょっと細かい部分は私もあれなんですけれども、東京都交通局の中でも、やはり自動車部、バスの方としては、他の民間の事業者と同じように人手が足りないというような状況だというふうなお話でございました。それは私も逆にびっくりしたところではあるんですけれども、実際にはそういう状況があるということでございます。

○たがた直昭委員 分かりました。

最後に1点だけ、このバスを活用した混雑緩和の社会実験実施における、これについては今後どういうふうに考えていこうとしていますか。

○交通対策担当部長 令和7年度の中で、まだちょっと期間が決まっていないんですけれども、まず1回取り組んでみようということで、今お話をしているところでございます。その中では、先ほどのお話で、やっぱりバスの方も都営バスに協力いただくんですけれども、その中でも運転手の限られた部分もあります。では、逆に足立区の中の民間の事業者に協力してもらうとか、そういった

ことも含めて協議を進めていきたいというふうに考えています。

○長井まさのり委員 私、地下鉄8号線についてちょっと質問させていただきます。

野田市副市長を訪問していただいて、本当に副区長ありがとうございます。

当日の状況も含めて、副区長の方から少し御説明いただけますでしょうか。

○副区長 当日、副市長と意見交換をしましていました。野田市が言う内容というのは、あくまでも、やはり都心側から八潮までということがあって地下鉄8号線だという考えは持っておりますけれども、今ある期成同盟会は、研究会と言いますか、その部会が二つに分かれていて、野田までの検討する部会と、それよりも先を検討する部会があるということで、必ずしもその期成同盟会が一枚岩になっているかというところ、そういう状況ではない。野田市としては、是非、足立区と一緒にやっていきたいという考えを持っていますけれども、足立区がこれからいろいろな委託を出して、採算性とかの検討をするときに、その費用は、申し訳ないけれども期成同盟会では出せないで、足立区の方でやってもらいたい、ただし、足立区の検討内容については、野田市としてもいろいろな意見交換をしたいし、足立区で誘致促進の大会をやるときには、野田市長も時間が合えば、是非出席したい、そういった内容でございました。

○長井まさのり委員 野田市としては、都心側からの延伸で誘致していく考えであるということはしっかり確認できたと思いますけれども、記載のとおり、★★で促進大会を実施するのであれば当区も参加意向であるということで、今後の足立区の開催する促進大会の予定、また、地域からもどういふ声があるのか、併せて交通対策担当部長に伺います。

○交通対策担当部長 当初予算の状況での予定としてはそこまで入っていなかったんですけれども、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

地域とのお話を進めていく中では、やはり1回やろうと、まずは1回やろうということで考えておりますので、令和7年の間に、地元の皆さんと一緒に、以前の促進大会の完全な、そこまで行くかどうかはちょっと分からないんですけども、そういった形のを1回やりたいというふうに思っております。また、先日の流し踊りの際にも、地元の女性の役員の方なんか御挨拶の中で8号線のことを取上げていただいて、お話をいただいたりなど、皆さん非常に熱心に参加いただいておりますので、我々も負けないようにしっかりやらせていただきます。

○長井まさのり委員 分かりました。

また、来年度に向けては、機運醸成に向けて、当初予算からしっかり組んでいただきたいと思いますけれども、その点いかがですか。

○交通対策担当部長 今年度のまずやらせていただく内容等を含めて、来年度に向けても計画として入れていきたいというふうに思います。

○長井まさのり委員 分かりました。

また確認ですが、事業の採算性についてはどのように、今、考えているのでしょうか。

○交通対策担当部長 足立区においても平成の24年、平成25年当時に、そうした事業便益ですか、そうしたものの検討を実施しております。その際に、B/C（ビーバイシー）とよく言われるものなんですけれども、1.0程度というような状況で、その数字が、今現在の答申にも、事業採算性を上げなさいみたいところで示されている状況ではございます。

○長井まさのり委員 分かりました。

鉄道が通れば、また地域のまちづくりも開発が進んでいったり、つくばエクスプレスもそうありますけれども、そうしたまちづくりも同時に並行して進めていっていただきたいなと思いますけれども。

また今後、近隣自治体との連携、情報共有につ

いてはいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 正に北側の自治体の皆さん方とも連携して、同じようにやっぱりそうした事業便益ですか、そうしたものの検討も実施されておりますので、そうした情報、あるいは過去にも実施されたところがあれば、そういったものの情報もいただきながら、区としても再度見直しをして、そういうところについても検討を進めていきたいというふうに思います。

○長井まさのり委員 分かりました。

また、将来的になるかと思いますが、この出資金の考えについてはいかがですか。

○交通対策担当部長 その部分については、これからになるのかなということでございますので、検討課題かと思えます。

○長井まさのり委員 また、次の地下鉄8号線ニュースの発行についてはいかがでしょうか。先ほど伊藤委員からもあったとおりに、地域の方々についても誤解のないように、しっかりこの整備については周知していただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 次回の委員会で、少し今後の取組、進め方を皆様方に御紹介させていただこうと考えておりますので、そういう内容も含めて、先ほどメトロのニュースもございましたので、そういったことと併せて周知できるようなものをつくってきたいというふうに思います。

○長井まさのり委員 分かりました。

地域の機運醸成に向け、しっかり努めていただきたいと思います。要望して終わります。

○ぬかが和子委員 私も日暮里・舎人ライナーのことで質問をさせていただきます。

先ほどの白石委員の指摘、私もなるほど思っている部分がありまして、やはり名は体を表すという中で、確かに利用促進等協議会、本来は利用促進と協議会ではなくて、利用促進は、もうそれもあるのは私は分かっていますけれども、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ぼち、混雑解消とか、せめて混雑解消が入らないと駄目なんじゃないかというふうに思っているんですよ。

この中で、設置時期、令和7年5月予定と書かれているんですが、今、令和7年4月ですけども、5月というのは、もういついつというのは決まっているのでしょうか。

○交通対策担当部長 まだ日にちは決まっておりません。

○ぬかが和子委員 だとしたら、そういう働き掛けも、もともと先ほどもあったように、これ区側や議会からの要望も受けて、区長が要望を出した中で、東京都と足立区と一緒に協議して解決策探っていきたいということで作られる協議会なわけですよ。その区側の要望は混雑解消なわけだから、やはりそこは、もっと言うと、この社会実験でも何でもやってみようじゃないかというのが区側の要望だったと思うんですよ。

だから、やはりそこはそういう働き掛けをするべきじゃないかと思うんですが、副区長どうですか。

○副区長 私もこの名称については、利用促進というふうになっていますので、足立区としては、やっぱり混雑緩和というのが第一、それはそのとおりでございます。名前の変更ができるかどうか改めて東京都の方には申入れますけれども、私どもとしては、まず今後は混雑対応というのを第一に進めていきたいと思っています。

○ぬかが和子委員 やっぱりやるやらないはできないことではないと思いますし、もともと今回は、やはり区側としても、お金も一緒に出すし、一緒に力を合わせて社会実験やりましょうというスタンスが今までと違うところなわけですよ。そういう点では、是非そういう立場で働き掛けをしていただきたいというふうに思います。

その上で、先ほどもあった、バス等を利用した混雑緩和の社会実験、確かにこれは、現段階で知

事も、東京都の方も前向きな答弁を議会でもしているというのも聞いたんですけども、これ令和7年度に取り組んでみようということで、協議会のペースは年に一、二回で、幹事会は年二、三回で、そういうペースの中で、5月に1回目やって、令和7年度に取り組むというスタンス、时期的なスケジュール的にどうお考えか、実際このペースでできるのかと思ってしまいますが。

○交通対策担当部長 社会実験については、ここにはテーマとして書かせていただいているんですけども、その協議会の中での、顔を合わせて協議するというよりも、個別に、そこについて、むしろ分科会じゃないですけども、そういう中で協議を進めていきますので、年度内にというような想定でございます。

○ぬかが和子委員 ということは、幹事会とかでもなく、幹事会もっと回数多いわけだけでも、もっと事務ベースでやりながら、基本方向としては合意しているので、それを令和7年度にやりましょうということによろしいでしょうか。

○都市建設部長 ぬかが委員御発言のとおりですが、もう1回補足して御説明しますと、もともと本会議等の御答弁で、私から、利用促進という切り口で、日暮里・舎人ライナー沿線の、例えば舎人公園であったり、今後、江北エリアでの施設の整備等がありますので、そちらの利用促進という切り口で御答弁させていただきましたが、一方で、混雑緩和のことは重要課題ですので、先ほど、交通対策担当部長御答弁申し上げたとおり、この協議会とは別口で、今年度実証実験ができるように進めてまいります。

○ぬかが和子委員 その上で、今答弁もありました利用促進といいますか、要は昼間がらがらだとか、一方通行で、朝の日暮里駅方面と夕方の見沼代親水公園行き、これだけが混んでいるという状況が、収支の点で大変なんだというのは、確かに東京都は事あるごとにそういう言い方をするわけですよ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ね。なんですけれども、そこの中で、私、このイベント等で連携して利用の促進を図っていくというところの、客観性というか数値的なものが全然見えないんですよ。先ほど答弁でも、ネモフィラで人が多かったとか、花火のときはどうだとか、そういう話は出るわけですが、例えば、もっと数年前には女子医大がオープンすると日中の利用促進になると、これは日暮里・舎人ライナーの収支の改善策にもなるとさんざん私たちに言われてきたわけですよ。それがどうだったのかとか、また、千本桜まつりは毎年やっているわけですから、そこではどうだったのかとか、そういう数値的な、つまり、そういうイベントをやるのが利用促進にどうつながっているのかということも、もう少し示していただきたいと思うんですが、どうでしょうか。

○交通対策担当部長 今、ぬかが委員の方から女子医大ができてというお話もございました、各駅ごとの利用者の数というのは毎年報告させていただいている、それは★★交通からいただいた数字でございますので、そこでやっぱり出ているわけですね。ですので、逆方向の、当然ＩＣカードで皆さんほぼほぼ利用されていますので、その数字というのは出ているはずですので、数字をいただいて、皆様にも御提示できるように準備してまいりたいと思います。

○ぬかが和子委員 先ほど私も指摘された中でもっともだと思うことがあって、それはやはり連携ということなんですよ。実は私、もう何週間も前でですけども、山手線に乗っているときに、ある中高年の御夫婦が熱心にパンフレット見ているんですね。何のパンフレット見ているのかなと思ったら、千本桜まつりのパンフレットなんです。だから恐らく日暮里駅が何かに置いてあって、それを取って、私が見かけたのは新宿駅とかその辺だったんですけども、ずっと見ているんですよ。つまり、やっぱり連携を取って、必要なところで知

っていただくと、魅力的なイベントというのはやはり利用促進にもつながるということを改めて実感したんですね。そういう点で、先ほどもあったような、私も見かけたんですけども、しょっちゅう東京都の方も舎人公園でいろいろなイベントをやっているなと思いつつも、確かにそういう情報共有とか、それからそういうことでの促進というか連携というのをもっともっと強めていただきたいと思っているんですが、再度答弁お願いします。

○都市建設部長 今回の報告の中で、協議会の構成メンバー、このようなラインナップで取り組んでまいりますが、今重要だと思いますので、混雑緩和とともに利用促進についてはＰＲできるように取り組んでまいります。

○杉本ゆう委員長 ほかに質疑ありませんか。

○加地まさなお委員 私も日暮里・舎人ライナーの利用促進、混雑対策ですかね、のことをお聞きしたいと思います。

バスの実証実験始めるということなんですけれども、これ混雑時のオフピーク通勤の促進、バスを活用した混雑緩和なんですけど、どちらをメインに考えているのかなということをお聞きかせください。

○交通対策担当部長 東京都としては、これまでもオフピーク通勤については取り組んでこられているので、それを更に定着するような形に進めたいという御意見はいただいております。

○加地まさなお委員 もう既にそれは取り組んでいるということですね。ですが問題は解決していないところだと思うんですね。

舎人ライナーも、乗降者数、前回の委員会でデータが出ていたので、データを可視化して調べてみたら、やっぱり７時５０分、４０分ぐらいから約１時間の間というのが、高野駅とか、扇大橋、それに５名、乗車できなかった人１名とか、意図的に次を待った人が４名、実質的にデータは出て

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いて分かったんですね。でも、今すぐに解決しなければいけない問題だと思うんですが、先ほどぬかが委員がおっしゃっていたように、協議会を進めて、本当に話先に進んでいくのかなというふうに考えると、なかなか進まないんじゃないかなというふうに思います。先ほどもお伝えさせていただいたMa a Sという複数の交通手段取り組んで予約決済するサービスですよ。これは、先ほどは花畑の場合は、私は自転車の促進、自転車を取り組むということをお伝えしたんですが、こういったことをほかの自治体でもないのかなというのを調べていったら、やっぱりA IとかMa a S活用して、リアルタイムで混雑状況を可視化して通知するシステムを導入したりとかというところですよ。行動変容を促す取組というのがオフピーク時のことだと思うんですが、そういうのを取り組んでいるところが横浜市とか、川崎市とかですね、混雑ピーク時を避けた利用者に対してポイントを付与する、混雑回避インセンティブ制度というのを導入しています。これに対して運動時間分散が進んでいるというふうに調べた限りでは出てきていますが、足立区の方はそういった取組というのは調べられていますか。

○交通対策担当部長 東京都の中で期間が限定されるのかなと思うんですが、冬場ですか、特にオフピーク通勤ということで、時間をずらすことでの、T o k o p oというカードをつくってらっしゃって、そこにポイントが付くというのはやってらっしゃいます。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。それ非常にいい取組だなと思って、それは選択肢として、それで選んでポイントが付くんだったら、ずらせられるんだたらずらしたいという方がいらっしやと思います。

それと同時に、バスを今後増やしていくのかなというふうに思っているんですが、その点はいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 朝の時間帯でやはりおおむね1時間ぐらいの中が一番のピーク、そういう時間帯になるのかなということで、その中でも恐らく30分ぐらいが一番ピークになるかと思うんですが、けれども。

今の路線のバスの方がその時間帯に3本4本とかという状況かと思います。私もちょっと考えているんですが、バス1台にパンパンに乗っていただいても50人ぐらいですよ。そうすることで、ライナーの混雑率が171%というふうに出ているんですが、それをどれだけ下げられるかというのは、恐らく2%とか、行って13%とか、そういう数字にしかないというふうにも思われます。ですので、そこでバスが利用できることに對して何を求めていくかというような状況にもあろうかと思うので、例えば上下で共通で利用できるような定期とかということであれば、これは仮のお話でございますけれども、そういったところでお持ちになることで、体調が悪いときには下に乗っていくとかという安心感だったりとか、そういったものが得られて、帰りはそのまま上に乗って帰るというようなことができたなら、沿線の利用者の方々に、やはり安心して利用いただけるような状況ができるのかなという、これ仮定の話でございますけれども、そんなことを考えているところでございます。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。すばらしいアイデアだと思います。やっぱりどちらか選択できるというのは、乗る方にも安心につながるのかなというふうに思います。

同時に、乗る量はバスも限界がありますけれども、どちらか選択するとしたら、やっぱり時間帯だと思うんですね。何分で着くかというのを計算する、皆さん朝お忙しいので。

舍人ライナー沿いの下ですよ、あれバス専用レーンというのは、今、どういった形になってますでしょうか。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○交通対策担当部長 レーンとしては特になくて、バスが優先になる内容の場所もあるんですけども、ちょっと確認をさせていただきたいと思いますが、基本的にはない状況だと思います。

○加地まさなお委員 江北橋降りていって、王子の方に向かって行くと、王子の近く122号線を越えたあたりからバス専用レーンになっているんです。なので、一般の車は確かに混んでしまうのですが、それができたのが多分10年前ぐらいだったような気がします。それができたことによって、バスがしか走れないので、たまに分からなくて走ってしまう方もいらっしゃるんですが、バスの混雑というのはかなり解消されていると思います。

そういった形で、道路なので、区ができるということではないというのは分かっていますが、そういうふうな、こういう形でバスに乗っても、一定の時間で着けるんだよという取組を、都の方にも、要請というかアイデアとして、話し合いをしていただきたいというふうに思うんですが、その辺も含めてどうでしょうか、今現時点で。

○交通対策担当部長 バス専用通行帯ということで、確かに有効かなというふうに考えます。また、そういう形になっていない場所でも、信号と連動する機器を付けて優先的に運行できるようにしている部分もございますので、そういったことも含めて確認していきたいと思います。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。

王子のところは、私、仕事でいつも通っていて、もう本当にバスは前は渋滞していたんですが、行けるようになったというのは、これはもう実際に見て確認していますので、その辺も、データもしあれだったら、取り寄せられれば伺っていただいて、よりよく、どちらを選んでも時間帯がそんなに変わらないよということになれば、皆さん選択肢が増えると思いますので、その点も含めて取り組んでいただければと思います。要望させていただきます。

以上です。

○杉本ゆう委員長 ほかにありますか。

○佐藤あい委員 日暮里・舎人ライナーの件で、1点だけ確認したいと思います。

予算特別委員会の方でも、日暮里・舎人ライナーの定期が使えるバスを検討していただきたいですとか、お話をさせていただいていたので、そこは1案として御検討いただいている状況ということで、よかったなと思います。

バスの運行に関してですけれども、このバスに関しては、どこからどこを走らせる予定とかというところは考えていらっしゃるのでしょうか。

○交通対策担当部長 まだ決まっているわけではないんですけれども、展開したり、それから停車して待つことができるというところ、恐らく江北の駅のところは交通広場もございますので、そうしたところの辺りになるのかなとは考えております。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

あと、こちらも予算特別委員会で申し上げた部分ではございますけれども、やはり先ほど加地委員からもありました、時間の差を埋めるという部分では、急行の運行というところで提案させていただいておりますけれども、こちらの検討というのはいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 今、私どももどういう事業者が協力いただけるかということでも変わってくることもありますし、都営バスが直接であれば、各バス停にも入るといえる形もできるんですけれども、そうしたところでは実験になりますので、恐らく佐藤委員おっしゃっていただいたような、割と出発した後は西日暮里と日暮里とか、そういった形になろうかとは思っています。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

バスが走っても、混雑の緩和というのが一、二%程度とおっしゃいましたか、2%程度の緩和予想ということではあるんですけれども、もう混雑率がとても高くて、やはりお困りのお声が本当

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

にずっと多い路線でございますので、混雑緩和につながるであろう施策を様々検討いただいて、しっかりと東京都と連携をして、社会実験まずスピードラーに対応をいただきたいと思います。最後にいかがでしょうか。

○交通対策担当部長 足立区の西側の大きな課題でもあると思いますし、また、そこの利用が快適にできるようになるということは足立区の魅力にもつながると思いますので、是非、取り組ませていただきます。

○杉本ゆう委員長 ほかによろしいですか。
[「なし」と呼ぶ者あり]

————— ◇ —————

○杉本ゆう委員長 それでは、次に、その他に入ります。

何かございますか。

○土屋のりこ委員 以前、自転車の安全対策のところで、自転車は車の仲間ですというプレートということでお話をしたかと思いますが、それは早速、環七南通りの西側と足立高校の前に設置されているのを見かけたんですけれども、足立区と書かれたやつが。全国的に何枚くらい設置されて、どういった、例えば区民の方から、ここはちょっと自転車危険だから、是非設置をとかいう要望があれば、区はそれに対応していただけるのかという点についていかがでしょうか。

○交通対策担当部長 土屋委員おっしゃっていただいたような状況でございます。私たちも警察と協議の中で、ここに付けてほしいとかいろいろな話があったりするところについては、極力、積極的に対応させていただいております。

○土屋のりこ委員 是非よろしくをお願いします。

今の五反野とかも結構警察署の方で、結構見守りというか、交通違反の取締りというか、区道ですかね、区の職員の方、委託なのか民間の方も立

って、四ツ谷交差点の辺りとか、指導なのか注意なのか、されているかと思いますが、そういった形で危険な運転に対しては安全性をということで取組をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○交通対策担当部長 今年度、会計年度の方を採用しまして、そうした自転車の指導ですか、マナー啓発、そうしたものに取組を進めております。これは4署の警察とも一緒にやっていくというような形を取っております。その中で、五反野駅の通りについては、やっぱり重点の地区にもなっておりますので、そうしたところをやっぱり1年掛けてしっかり取り組んでいくという、また次の年も取り組んでいくというような形を続けていきたいというふうに考えております。

○杉本ゆう委員長 よろしいですか。

ほかにありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○杉本ゆう委員長 なしと認めます。

————— ◇ —————

○杉本ゆう委員長 それでは、委員長より委員の皆様へ申し上げます。

昨年6月5日付の本特別委員会における中間報告書の提出が約1年が経過いたします。つきましては、本日の委員会で一区切りとし、議長宛てに本特別委員会の調査報告書を提出したいと思っております。

なお、調査報告書の内容については正副委員長に御一任いただきたいと思いますので、御了承願います。

よろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○杉本ゆう委員長 よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の総合交通対策調査特別委員会を終了いたします。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

お疲れさまでした。

午前11時47分閉会

速 報 版